

学校関係者評価

※ 評価Ⅲの基準

4:よく取り組んでおり、成果が大きい
2:取り組んでいるが成果が十分でない

3:熱心に取り組んでおり、今後が期待できる
1:取組が不十分である

学 校 関 係 者 意 見 等	評価Ⅲ
1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む ・子ども達の学習態度は良い。 ・全国学調の結果が向上する等、学力向上に向けた取組を学校全体で推進することができている。今後も頑張って子ども達の学力を向上させてほしい。 ・子ども達の体力が落ちてきているのではないかと。体力向上のための取組を充実させてほしい。	3.3
2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る ・道徳教育の充実が必要。子どもの道徳性を育てることで、人としての善悪の判断力、思いやりや責任感、社会との関わり方等の力が身につく。 ・道徳教育を通じて、子ども達が「自分を大切にし、他者を尊重しながら、夢や目標に向かって努力できる人」に成長できるようにしてほしい。 ・サポートルームにおける対応等、不登校への対応が充実してきている。	2.5
3 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む ・校区内の公園で、お菓子のごみをポイ捨てしている子ども達がいる。また、自転車をそこらじゅうに停める子ども達がおり、危険。学校でも指導してほしい。 ・低学年の昔遊び体験では、地域から多数のゲストティーチャーをお招きして子ども達と触れ合うことができて良かった。	3.3
4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る ・地域防災訓練を大庄地域課さんとともに実施できたことは良かった。 ・来年度より、PTAは登校時の見守り方法を見直す予定である。地域の方々には、引き続きこれまでのように見守っていただけるとありがたい。	3.3
■教育目標 ・昨年度は、登下校での子ども達の挨拶が少なかったが、今年度は登下校での挨拶が増えた。しかしながら、こちらから挨拶をしても返ってこないこともあり、引き続き指導していく必要がある。	3.0
■研究テーマ ・保護者アンケートによると、授業のわかりやすさに課題があるようである。授業改善の取組を今後も充実させていく必要がある。	3.1
■	
評価項目（A:優れている B:適切である C:おおむね適切である D:要改善）	評価Ⅳ
アンケート等、自己評価の根拠となる資料は適切か	B
自己評価の結果の内容は適切か	A
自己評価の結果を踏まえた今後の改善策は適切か	B